

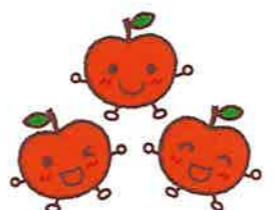


「絵本から飛び出したおやつ」



～あらすじ～

地球をまるごと「いただきます」というテーマで書かれている絵本で、子どもたちにもりんごが育っていく様子が分かりやすいように表現されています。



3歳未満児のクラスでは、アップルパイの絵本読みが始まると子どもたちは集中して見ていました。「なんでおいしいの?」の場面では、2歳児でも理解できていたように分かりやすい内容となっています。

3歳以上児のクラスでは、アップルパイの絵本を見た時から「今日のおやつアップルパイだ!」と喜んでいた子どもたち。年長児では、絵本に“すっぱい”というワードが登場しそれが印象的だったようで、アップルパイを食べた時に「あま~い。」の他にも「ちょっと、すっぱい!」という感想もありました。また、絵本の内容を思い出し「このりんごは、お星さまをたくさん見たんだよね。」と星空を思い浮かべ食べている姿は、微笑ましかったです。また、トングを使って自分で皿に入れているクラスもあり、アップルパイを落とさないように真剣な顔でおやつを貰っていました。



～味覚体験！～

今月の食育は、人間の舌が味覚（甘味・酸味・塩味・苦味・辛味・渋味・旨味など）を感じ取る話を行った後、実際に調味料を舐めて味覚の体験をしました。子どもたちにすべての味を確認する事は難しいので、園での食育では、甘味に砂糖、酸味に酢、塩味に塩の3種類で体験をしてもらいました。日頃口にしている砂糖と塩は、舐めてすぐに感じ取ることが出来ましたが、酢その物となると慣れない味なので、子どもたちの顔はくしゃくしゃになり初めて体験する味だったようです。「酢を舐めてどんな味がした?」と聞くいろんな答えが返ってきましたが、一人だけ「すっぱかった!」と言う正解の答えが返っていました。

最後は、「この3つ(砂糖・酢・塩)を混ぜるとどんな料理の味がするでしょう?」と聞くと「お肉!」やいろんな料理名が出てきましたが、正解の寿司とは出てきませんでした。子どもたちに正解を伝え、すし酢を体験してもらいました。すると子どもたちは、「お寿司の味がする!」と感激している子や恐る恐る舐めた子も、「美味しい!」と笑顔になっていました。



～骨付きの魚に挑戦！～

年長児は、学校給食に向けて魚の骨を出す練習のため10月からサバの塩焼きを取り入れています。年長児に聞くと家庭で骨付きの魚が食卓に出てくるのは約半分の世帯でした。骨付きの魚を初めて食べる子も多く、恐る恐る食べている子や魚を食べ口の中から上手に骨を出している子もいました。この日は、魚の骨を出すのに集中しそぎて、ご飯や汁を食べる事を忘れたりしていましたが、無事にみんな食べ終わることができました。

サバの塩焼きは、3月まで献立に取り入れていく予定なので、ご家庭でも練習をしてみて下さい。

